



2021-2022年度主題

国際会長 キム・サンチエ(KR)
 “Heal the World with Love and Dignity”

アジア太平洋地域会長 大野 勉 (JP/神戸ポートクラブ)
 “Think for the next generation”

東日本区理事 大久保知宏 (宇都宮クラブ)
 「100年を超えて変革しよう」

湘南・沖縄部長 若木 一美 (横浜とつかクラブ)
 「咲かそう 人の輪」

クラブ会長 辻 剛
 「弱者に寄り添う愛と奉仕の実践」
 スローガン：「生涯現役」で楽しいクラブライフを！

| 2021-2022 クラブ役員 | |
|-----------------|-------|
| 会長 | 辻 剛 |
| 副会長 | 林 茂博 |
| 書記 | 鈴木 茂 |
| 会計 | 横田 孝久 |

今月の聖句

「子らよ、わたしに聞き従え。
 主を畏れることを教えよう。
 喜びをもって生き／長生きして
 幸いを見ようと望む者は 舌を
 悪から／唇を偽りの言葉から遠
 ざげ悪を避け、善を行い／平和
 を尋ね求め、追い求めよ」

詩編 34・12-15

《巻頭メッセージ》 平和を目指すワイズメンズクラブ

書記 鈴木 茂

横 浜YMCAはこの8月21日（土）に、沖縄大学
 名誉教授の加藤彰彦氏を講師としてお招きし、
 「子どもの貧困問題とYMCAの活動」というテーマで委員研
 修会を開催します。加藤先生は「貧困児童」などの著書で
 知られている児童福祉の第一人者であります。日本の
 子どもの貧困率が先進国の中で現在、アメリカ、イタリアに
 次いで第3位にあり、近い将来トップになるのではないかと懸念しておられます。



ここで言う貧困とは、生命を維持するために必要な最低限の食料と住居が無い状態を意味する「絶対的貧困」ではなく、現在暮らしている社会のほとんどの人が享受している「普通の生活」を維持することのできない「相対的貧困」を意味しています。小学生や中学生の場合、家庭の経済的事情から学校へお弁当を持って行くことができない、給食代を払うことができない、クラブ活動や遠足に参加することができない、といった状況を意味します。さらに単に経済的に貧しい状況というだけでなく、仲間や居場所が無いといった、子どもたちの生きる権利が奪われている状態が「子どもの貧困」の真の意味であると、先生は指摘しておられます。

現在、日本の貧困児童は6人に1人の割合に達するという事実は驚きですが、問題は子どもたちの貧困状況は外から眺めただけではなかなか見えてこない点にあります。しかし、貧困の子どもたち自身にとっては、友だちがいない、学校で共通の話題に乗ってゆくことができないことなどから、孤立化したり、犯罪に巻き込まれたりする危険が高いと指摘されています。

横浜YMCAは貧困児童対策として、たとえば“BAPY基金”という「経済的な事情でYMCAのキャンプや水泳教室等に参加することの困難な子どもたちを支援するプログラム」を持っています。YMCAとともに、「イエス・キリストの愛と奉仕の実践を目指す」ことをモットーとするワイズメンズクラブも、この子どもたちの貧困問題に無関心であることはできません。現にたとえば、こども食堂の運営などに協力、参加しているワイズメンズクラブは少なくありません。

私どもつづきクラブは、貧困児童に直接関わる地域奉仕活動は行っていませんが、障害児・者を念頭に置いたクラシックコンサートの開催やグループ・ホームでの調理ボランティア活動などを続けています。貧困児童も障害児もともすれば社会から置き去りにされがちな弱い立場の人びとです。こうした世の中の弱い立場の人びとに目を注ぎ、共に生きて行こうとする姿勢は少し大げさな言い方をすれば、世界の平和を目指す活動と考えられます。強い人、普通の人だけを **(次頁へ)**

行事案内

8月は事務例会、本例会とも休会となります。コロナ禍がいつまで続くか、先行き不安がいっぱいですが、9月からは少しでも活発な活動が再開できることを願いつつ、皆さん、しっかりと休養に努め残暑を乗り切ってください。

～当面の行事予定～

- 9/7 第31回Y-Y's協議会
 - 9/10-12 YVLF
 - 9/14 17:00 事務例会
@田園都筑教会
 - 9/24 17:00 本例会
 - 10/12 17:00 事務例会
@夢Café
 - 10/22 17:00 本例会
 - 10/23 部大会
 - 11/6～20 横浜YMCAインターナショナルチャリティラン
 - 11/3 横浜北YMCAバザー
 - 11/9 17:00 事務例会
@田園都筑教会
 - 11/26 17:00 本例会
 - 11/27 第2回部評議会
- ※詳細はその都度ご連絡します。

(1頁より) 中心としたこの世の営みは、世の中から見捨てられがちな人びとを放置することになり、そうした矛盾を抱えた社会は決して平和な社会とは言い難いからであります。この世で最も恵まれない人びとに幸せを届けることができなければ、真の平和を実現することはできません。ワイズメンズクラブは、究極的には世界の平和を目指す団体でありたいと願っています。 以上

《2021-22年度 7月事務例会報告》

書記 鈴木 茂

日時：2021年7月13日（火）17:00~18:30
 場所：田園都筑教会
 出席者：今城T、岡田、鈴木K・S、林、福島、横田
 （以上対面）今城H（Zoom）（合計8名）

【議事次第】

1. 会長挨拶

辻会長が入院中のため、林副会長が議事進行を代行。辻会長の早期のご体調回復を祈りたいとの挨拶。

2. 協議事項

1)7月総会資料の最終確認の件

- ①2020-21年度クラブ活動報告：鈴木S直前会長より、別紙「活動報告」に基づいて報告。
- ②2020-21年度クラブ決算報告：鈴木K 直前会計より、別紙「決算報告」に基づき、6月事務例会で報告された5月末時点の「見込み」に6月の収支を加えた最終決算を説明。
- ③2021-22年度クラブ会長主題とクラブ活動方針（案）：辻会長が作成した別紙「クラブ活動方針」に基づき、林副会長が説明。補足事項として、辻会長がクラブ活性化対策として掲げた「オンライン・リモート方式の習熟」に関連して、つづきクラブ独自のZoom使用契約を締結した旨の報告があった。
- ④2021-22年度クラブ・部・区年間予定案）：辻会長作成の別紙「年間予定表」に基づき、林副会長が説明。クラブ例会における卓話者の候補を提案してほしいとの辻会長の意向が伝えられた。
- ⑤2021-22年度クラブ役割分担（案）：辻会長が作成した別紙「役割分担表」に基づき、林副会長が説明。
- ⑥2021-22年度クラブ行事分担（案）：辻会長が作成した別紙「行事分担表」に基づき、林副会長が説明。なお、11月本例会の「受付・報告執筆」は福島佐世子→岡田美和に訂正することを確認。

⑦2021-22年度予算（案）：横田会計より、別紙「2021-22年度予算」に基づき、6月事務例会で説明された予算案から特に大きな変更はないとの説明があった。

⑧2021-22年度会員名簿：今城高之ワイズより、新しいクラブ会員名簿が完成したとの報告があった。
 以上8件の総会資料を7月総会に議案として提出することが承認された。

2) 8月例会の件

8月本例会は、定例日における会場・「かけはし都筑」の予約が取れず休会となった（決定済み）。そこで他の日に「事務例会とYOU & I コンサート運営委員会」を兼ねた例会を開催する案も出ていたが（一例：8月24日・火17:00～に夢カフェ仮予約）、コロナの時期に上記例会を開催することは困難を伴うとして、中止を決定。

3)7月本例会・総会の件

7月本例会・総会は予定通り7月23日（金）15:00～に「かけはし都筑」にて開催するが、部長公式訪問についてはコロナの状況、辻会長の予定等を勘案した上で改めて検討することを決定。クラブ役員引継ぎ式は予定通り行なう。

4)創立15周年記念例会プログラム・年表の小冊子及びプリテン合本の件

- ◇協議の結果、次の2点を決定。
 - ・15周年記念例会プログラムに過去15年の年表及記念例会の集合写真を掲載した記念小冊子を数部作成し、東日本区ヒストリアン等にクラブ資料として送付する。
 - ・2016-2021年度5年間のプリテン合本（352ページ）を2部作製し、1部は北YMCAで保管する。
- 活動報告・YMCA報告・アピール等：特になし。
- 黙祷をもって閉会。 (完)

7月のデータ

| | | | | | | |
|------|-----|--------|-------|------|-----|------|
| 例会出席 | 15名 | 在籍会員数 | 17名 | 各種記録 | 月実績 | 年度累計 |
| メンバー | 14名 | 月間出席者数 | 14名 | スマイル | 0円 | 0円 |
| ビジター | 0名 | メキップ | 1名 | — | — | — |
| ゲスト | 1名 | 月間出席率 | 88.2% | — | — | — |

《2021-22年度7月本例会報告》

今城 宏子 記

日時：7月23日（金）15:10~16:30

場所：かけはし都筑

出席：相賀、今城T・H 岡田、鴨下、坂口、鈴木K・S、
林S、福島、横田、高松（G）

（ZOOM）胡麻尻、辻Ta・Ts （計15名）司

司会：林 茂博 受付・報告：今城宏子

⑤2021-2022年度クラブ・部・区年間予定 同上

⑥2021-2022年度クラブ役割分担 同上

⑦2021-2022年度クラブ行事別分担 同上

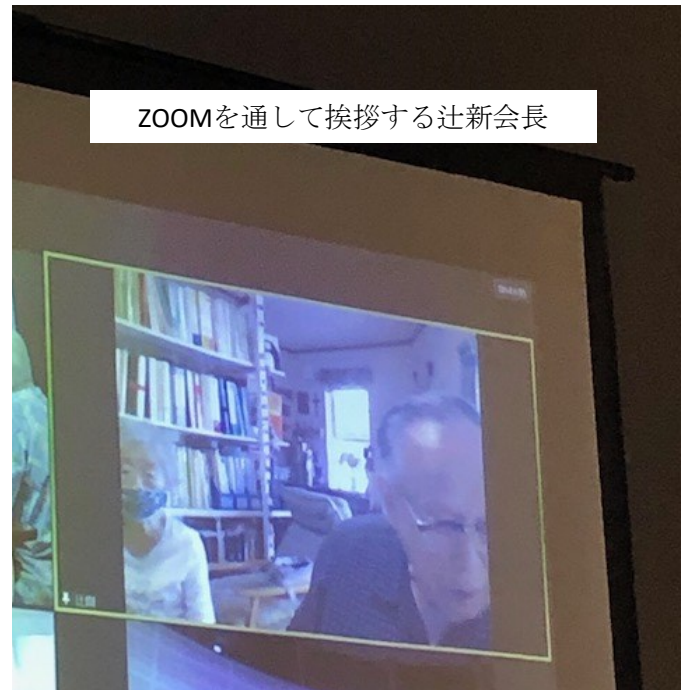
⑧2021-2022年度クラブ予算 横田孝久会計

⑨2021-2022年度クラブ会員名簿

今城高之直前書記

～議事概要～

1. 鈴木茂直前会長による開会点鐘
2. ワイズソング・ワイズの信条を唱和。
3. 相賀チャプレンによる今月の聖句の紹介と祈祷。
4. ゲストとして高松さん紹介。
5. クラブ役員引継ぎ式 今城高之湘南・沖縄部元部長により新役員就任式・引継ぎ式挙行。
会長：辻剛、副会長：林茂博、書記：鈴木茂、
会計：横田孝久 各ワイズ
6. 辻剛新会長挨拶（ZOOM経由）
 - ・会場出席がかなわずお詫びする。
 - ・式文の中でキーワードとして重要なのは「Interest」。コロナ禍の中で大切にすることは関心を持つこと。
 - ・周囲の人々が関心を持っていることに関心を持つ。
 - ・お互いの絆を深め、お互いの弱さを認め、弱者に心を寄せる。
 - ・皆様のご理解とご協力を願い、体調に合わせて会長の務めを果たしたい。
7. クラブ総会
 - (1) 議長選出：林茂博副会長を選出。定足数は14名出席で成立が確認された。
 - (2) 議案審議：以下の議案について各担当から詳しく説明を受け、全て承認された。
 - ①2020-2021年度クラブ事業報告
鈴木茂直前会長
 - ②2020-2021年度クラブ収支決算報告
鈴木恭子直前会計
 - ③2020-2021年度クラブ会計監査報告
横田孝久直前監事
 - ④2021-2022年度会長主題とクラブ活動方針
辻剛会長



8. クラブ・部・区・横浜YMCAの行事予定について
 - (1) 月31日（土）15:00~17:00 第1回部評議会 出席:新役員
 - (2) 8月の事務例会及び本例会、YOU&Iコンサート運営委員会は中止とする。
9. ロースター見直しにおけるクラブ名の表記及び会員リストについて確認。
10. Happy Birthday :
 - 岡田美和（7/11） 杉本千津子（7/12）
 - 坂口直樹（7/17） 三木直子（7/22）
 - 今城高之（7/31） 各ワイズ
11. YMCA報告：鴨下北Y館長
 - ・県独自の緊急事態宣言により、サマーキャンプが中止となったため、リモートによる代替案を準備中。
 - ・チャリランは11/6~20の間、タイムを競うのではなく、歩数のトータルを競う大会とする方向で準備中。チームは、5人1組と個人参加とする。

辻会長のリモートによる閉会点鐘をもって閉会。

《報告》

2021-22年度湘南・沖縄部 第1回評議会

報告者 鈴木 茂

日時：2021年7月31日（土）15:00-16:30

会議方式：Zoom会議

出席者：Zoom 21名、委任状11名、計31名
（定員31名）

当クラブZoom出席者：辻会長、林副会長、横田会計、鈴木書記

会議は板崎 部書記の司会のもとに進められ、部長の開会点鐘、出席者によるワイズの信条唱和、阿部 部担当主事による聖書朗読・開会祈祷、若木部長からの新年度に当たっての挨拶がありました。次いで、若木部長の議長のもとで議事に入り、次の諸議案が提案通り承認されました。

第1号議案 2020-21年度事業報告。

第2号議案 2020-21年度会計決算報告。

第3号議案 2021-22年度行事予定。

第4号議案 2021-22年度個別行事について。

第5号議案 2021-22年度会計予算案。

第6号議案 次年度次期部長の選出について。

第4号議案の行事予定では、つづきクラブへの部長公式訪問は11月26日（金）の本例会の際に行ないたいとの申し出がありました。第5号議案の個別行事予定では、湘

南・沖縄部の部大会を2021年10月23日（土）14:00-16:30に湘南とつかYMCAで開催し、エイズ文化フォーラムでおなじみの岩室紳也医師による「感染症と向き合う（仮題）」という講演をお願いすることが決議されました。最後の6号議案・次年度次期部長選出に関しては、当該年度（2023-24年度）の部長はAグループ（横浜・鎌倉・とつか・金沢八景）からの選出となり、第2回評議会（2021年11月27日・土）までに選考することが決議されました。

東日本区役員会（7/10）の報告として、那覇クラブの解散が承認された旨の報告がありました。また沖縄クラブの西日本区移籍に関しては、同クラブ所属で直前部会計の伊藤康一ワイズから、沖縄クラブを一旦解散の上、新たに2クラブを設立して沖縄部を設置したうえで西日本区に移籍する方針である旨の説明がありました。

YMCA報告では、阿部担当主事から今年度のチャリティーランは11月6日（土）～11月20日（土）の15日間に、5人チーム及び個人参加方式で期間中に歩いた歩数で順位をつける方式を採用する方針であるとの説明がありました。（完）

《寄稿》

「素人のワイン蘊蓄」 横田孝久

何回かワインに関する蘊蓄をブリテンに寄稿してきましたが、コロナ禍家飲みが多くなり素人の小生が蘊蓄を言うことに何て恥知らずと云う思いに至りました。そこでちょっと素人のワイン好き者がメモを寄稿し読者の許しを得たいと思った次第です。

ワインと語るにソムリエの味覚や嗅覚や、はたまた研究をされブドウ栽培や醸造の技術などを持ってこれは何年もの、シャトウ（醸造所など）はどこと当てる技術など、まったく持ち合わせていないワイン好きですが、しかし小生のように飲む側にとっては、多少のこだわりはあるものの、ある程度の開き直りが必要だと思う。

その1はワインを提供（作り手、レストランなど）する側の専門家より、世の中飲む側が圧倒的に多く、飲み手として経験を重ね、失敗や恥をかきながら飲みを重ねて進んで、その時や環境などの条件下でこのワインはどうだとかこのワインは好きとか嫌いとかの評価が少しでも解ってくれば、しめたもの。その点専門家は失敗は許せない、自己評価も世界基準に合わせる必要もあり、自由がないようでかわいそうと思うと飲み手でよかったと考える日々です。

第2は名の知れたレストランやビンテージなど、はたまた居酒屋あたりのワインでも相当の値段で提供されている事は

事実です。仕入れの何倍かの値段を払わされる事になります。自分でワインを選んで買い、自分で飲めば、経済的にもかなり得だと考える。

皆さんも経験があることだと思いますが、名の知れたレストランで料理にワインを合わせて、さすがこれは美味いと感激することもあるでしょうが、これがとてつもなく値段が張り、会計時にびっくりすることもあります。小生などそこそこの料理では安めのワイン、少しビンテージを上げれば料理はつまみ程度になんて、貧乏人の飲み方ではあるが、それなりに満足するものであることも事実で、これをごまかしとは言いたくはないのですが・・・。

そこで、ワインをどう楽しむか。その楽しみ方はいろいろありますが、ワインに対する基礎知識と思い入れが決まれば飲み手の資格は十分あると思う。

素人の中でも専門家を唸らせる知識と経験を持たれた方もおられる事も知っておくべきです。とにかく種々のワイン情報を得て、値段が高くてまずいものから安くて美味しいものまで、苦楽と喜びを繰り返し、二日酔いに悩んだり苦しみながらしつこくワインを眺め、嗅ぎ、味わい続けて自己満足できれば一番だと考える次第です。その限りにおいては、今まで蘊蓄を寄稿してきたことに後悔の念を持つ昨今であります。ちなみに昨夜はボルドーのメルロー単種で一人乾杯、十分満足し良い睡眠をとれたことを報告しておきます。（完）

《新連載》

会長の本棚より

「…たった一つお願いしたい。今年は豊年でございましょうか、凶作でございましょうか。いいえ、どちらでもよろしゅうございます。洪水があっても、大地震があっても、暴風雨があっても、…コレラとペストがいっしょにはやっても、よろしゅうございます。どうか戦争だけはございませんにように…」。(「昭和史」半藤一利著)。

7月初旬から2週間ほど入院したときに「昭和史」を17年ぶりに読み返しました。前回読んだときには止まらなかった箇所が目がいきました。

冒頭の文は、昭和12年の年頭に作家の野上弥栄子さんが新聞に書いたものです。昭和12年7月には4年後の真珠湾攻撃につながっていく盧溝橋事件が起き、日中戦争がはじまりましたので、きっと「どうか戦争が起きませんように」と願うような空気があったのでしょうか。

「8月や6日9日15日」(詠み人多数)。今年もまた8月が巡ってきました。もし今日のコロナ禍の真ただ中に野上さんがいたら「コレラとペストとコロナが一緒にはやっても…」とお書きになったのでしょうか。わたしは書いたと思っているのですが…。(辻 剛)

《トピックス》

時節柄

本誌掲載の報告にもある通り、7月のクラブ本例会では、新年度第1回目のクラブ総会が併催され、席上、新会長を始めとする新役員の就任式が行われました。通常であれば、湘南・沖縄部長のご臨席を仰ぎ、部長の司式で行われる就任式ですが、コロナ禍により部長のご訪問は実現せず、また、新会長は健康上の理由により当日はZOOM参加となったため、寂しい就任式と相成りました。状況を端的に表す写真がこれです。マスク着用で司式者(左から2人目、今城元部長)が式文を読み、新役員もマスク着用、着座のまま式に臨みました。なお、新役員は、写真左端が林茂博副会長(次期会長)、左から3人目が鈴木茂書記、右端が横田孝久会計です。

新役員の皆様には大変な時期を引き受けられ、今後ともさぞかしご苦労が多いことと思いますが、何卒よろしく願いいたします。(編集子 記)



《寄稿》 真夏になると思いたすこと 杉本千津子

今から40年余り前、一家四人、長男13才、次男10才、ニューヨークのリバデルという、マンハッタン島の北の先に住んでいたころ、二人の息子たちは近所のパブリックスクールに通い、いずれ帰国して日本の学校に通う時のために土曜日は日本語の補習校に通っていました。その頃、どういグループの主催か覚えていませんが、長い夏休みの間に“キャンプふる里”という催しがニューヨーク州の北の方で開かれ、アメリカに住んでいる人や日本からの留学生を中心に2~3週間、小学生をニューヨーク州の自然の中でキャンプ生活をさせてくれ、我が家の2人の息子も、他の日本人補習校の友人たちと参加することになりました。キャンプでは、忘れていた日本語のブラッシュアップや、経験したことのない日本の学生生活の色々、例えば、並んでのラジオ体操や今日本で流行っていることなどを体験、海外生活で親と離れたことのない子どもたちに日本語を用い、日本流の生活をさせてくれます。父兄訪問日には寸劇を見せてくれたりラジオ体操を教えてくれたりしました。マンハッタンから車で2~3時間の自然の中で、すべて日本語で生活して、忘れていた、全く知らない日本の風習などを教えてもらい、息子たちは普段は週一回、土曜日だけに補習校であう友人たち

と一緒に、留学生のリーダーから知らなかったことを教えて頂き、大変楽しかったようです。最初2週間だったはずの予定を延長して3週間参加しました。子どもたちは最新の日本の情報を得て、すっかり日本の子どもになって帰宅しました。こんなこともありました。キャンプの途中で長男からハガキが寄せられ「スニーカーを送ってください」と書かれており、新しいスニーカーを持たせたのにどうしたのかいぶかしがりつつ大急ぎ一足送ったところ電話があり、靴ではなく当時はやっていた“スニーカー”というキャンディーのことだと分かり、あちらは大まじめで不満、こちらは大笑いというということがありました。

3週間が過ぎ、二人を乗せたバスがアパートの前に着き二人が下りてきました。久しぶりなので飛びついてくるかと思いきや、リーダーのお兄さん、お姉さんと抱き合っ泣いて離れようとしないうには驚きました。

子供二人を3週間ものキャンプにやると費用もばかにはなりません、その一方で時間は出来たため、両親はメトロポリタンオペラの3階立見席で鑑賞したのを思い出します。

息子たちは“ふる里キャンプ”のおかげで、最新の日本事情や流行を学んだからか、翌年帰国した折には余り違和感を感じなかったようでした。(完)

《トピックス》 ワイズに所属する人は例外なく「タイム・オブ・ファスト」という言葉を一度は耳にされたことと思います。ファスト(fast)とは「断食」を意味する英語で、例えば、「私は断食をしています」は英語で“I am fasting”とされます。さて、ワイズのタイム・オブ・ファストとは何でしょうか。ワイズの皆さんはご存じですが、ワイズメンズクラブ国際協会に所属する各クラブでは、年の内何回かクラブの例会での食事を抜き、その費用を国際協会に献金し、国際協会は、世界のYMCAから募集した発展途上国を主体とする地域支援プロジェクトを選定し支援するプログラムです。今年度の選定作業が終了し、以下のプログラムが“Time of Fast”の対象と決まりました。今年度の支援規模は、11件の応募の中から8件のプロジェクトが選定され、支援総額は93,300スイスフラン(約1120万円)となりました。

1) アフリカ カメルーン

支援額： 7,500スイスフラン(約 90万円)

(概要) 政治不安から暴力と食糧難が多発するため、移住民女性(200人)の自立化促進に向け有機農業を指導、訓練と農機具の供給を行う。

2) アフリカ ジンバブエ

支援額： 7,500スイスフラン(約 90万円)

(概要) 同国では1日2ドル以下の貧困生活者が多く、95%の若者が失業している。ジンバブエYMCA同盟が選考した20名の若者を対象に職業訓練ならびに必要な支援を行う。

3) アフリカ ケニア

支援額： 14,980スイスフラン(約180万円)

(概要) ノルウェーOstenstadワイズが支援するケニアの孤児の学校「希望の泉」(生徒245人、教師15人)の校舎補修費用に充当。

4) アフリカ ルワンダ

支援額： 15,000スイスフラン(約 180万円)

(概要) アフリカ最貧国ルワンダでズ国政府との協力により支援を行う韓国テグーワイズ行う、200家族に各1頭の豚を提供し飼育支援する3か年計画プロジェクト。

5) マレーシア

支援額： 13,373スイスフラン(約160万円)

(概要) マレーシア イーグルスワイズが行う貧困地域に対する農業指導プログラム。2つの集合住宅に住む30人を対象に実施。

6) インド

支援額： 5,000スイスフラン(約60万円)

(概要) 人口の40%がスラム地区に住むナガプールのワイズでは、今後1年間、スラム住人に対して毎週1,300人分の食料を供給する

7) インド

支援額： 15,000スイスフラン(約180万円)

(概要) インドグリーンスターワイズは、過去に建設した貧困者の癌末期患者のSanthwanaホスピスケアに働く女性スタッフ、研修生の子女用集合住居建設費用の一部を支援。

8) チリ

支援額： 14,947スイスフラン(約179万円)

(概要) サンチアゴの貧困地域で活動するYMCAとワイズによるコロナパンデミック下の若者と女性へのサポート活動への支援。

(以上山田公平国際・交流主任のレポートから抜粋)

《お知らせ》 Y's Night Forum開催について

コロナ禍により、人と人との距離が物理的にも心理的にも離れようとしている状況を少しでも回避するため、ワイズ東日本区では、みんながSNSを介して共通の時間を持つことで、新しい交流のきっかけを作り、更に非会員の参加者にワイズの魅力を知ってもらう意図からZOOMによるフォーラムの開催を計画しています。ご関心のある方は是非ともご参加ください。ご関心のある方は、以下のQRコードでZOOM会議にご参加ください。



・ミーティングID
86832303212
・パスコード
8632392

第1回： 9月19日(日) 20:00~22:00

卓話者：藤田 智さま(東京多摩みなみクラブ)

趣味の園芸、NHKチコちゃんに叱られる出演

パネル・ディスカッション

ファシリテーター：佐竹 誠(他パネラー4人)

カンボジアに園児服を送る活動・・・

第2回： 10月24日(日) 20:00~22:00

卓話者：利根川恵子さま(川越クラブ)

TOKYO2020オリンピックにボランティアとして参加して

パネル・ディスカッション

ファシリテーター：山下 真(他パネラー4人)

チミケップキャンプ場の活動・・・

第3回： 11月21日(日) 20:00~22:00

卓話者：西村 隆夫さま(元ワイズ国際書記長)

国際書記長としてタイでの生活とオリンピックボランティアの経験

パネル・ディスカッション

ファシリテーター：榎本 博(他パネラー4人)

ワイズ青少年事業活動の魅力・・・